

1. 競技規則について

本競技会は、2022 WA Competition & Technical Rules、2023 年度日本陸上競技連盟競技規則、競技会における広告および展示物に関する規程及び本競技会の申し合わせ事項により実施する。

2. 競技場内で着用できる衣類と持ち込める物品について

「競技会における広告および展示物規程」により、競技場内で着用できる衣類等に掲出できる製造会社名/ロゴ、スポンサー名/ロゴの大きさ、数については下記の様になっている。事前に確認しておくこと。違反している場合にはテープ等でマスキングを行う。

アスリートキット

(1) 競技用の衣類（トップス、ベスト、パンツ、レギンスなど）、ウォームアップ用の衣類、セレモニーキット、トラックスーツ、Tシャツ、スウェットシャツ、スウェットパンツ、レインジャケット

○上衣 下衣 【それぞれ】

・製造会社名/ロゴ： 一箇所 40cm²まで（高さ5cm） ・スポンサー名/ロゴ： 一箇所 40cm²まで（高さ5cm）

・学校名/ロゴ：

上衣 前後 各一箇所

下衣 一箇所

*上衣・下衣 大きさの規制なし

(2) 競技者が着用するその他のキットや衣類（靴下、ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、アームバンド、メガネ、サングラスなど）

・製造会社名/ロゴ： （一つに）一箇所 6cm²まで（高さ3cm）

・学校名/ロゴ、都道府県名/ロゴ： 一箇所 大きさを問わない

個人の所有物およびアクセサリ

(1) タオル バッグ

・製造会社名/ロゴ： 一箇所 40cm²まで（高さ5cm）

・スポンサー名/ロゴまたは競技者名/個人者ハッシュタグ：二箇所 40cm²まで（高さ5cm）

* バッグについては、スポンサー名/ロゴのうち一箇所を以下に変更できる

学校名/ロゴ： 一箇所、大きさの規制なし

(2) 飲料ボトル

・アスリートスポンサー名/ロゴ： 二箇所 40cm²まで（高さ5cm） * ペットボトルを持ち込む場合はラベルをはがすこと。

3. 練習について

別紙【練習に関する注意事項】を参照。

4. 参加受付について

参加受付は以下の期日、時間、場所で行う。

アスリートビブス、プログラム、IDカード（混成競技者のみ）を配布するので、チーム代表者が一括で受け取ること。

期日	受付時間	受付場所
4月20日(木)【大会前日】	13時00分～17時00分	インフォメーション・センター
4月21日(金)～23日(日)【大会期間中】	開門時刻～閉門時刻	インフォメーション・センター

ハンマー投については下記のように受付を行う。（特別アスリートビブスは当日の受付で配布する。）

期日	受付時間	受付場所
4月20日(木)【大会前日】	13時00分～17時00分	インフォメーション・センター
4月21日(金)【大会1日目】	開門～閉門	インフォメーション・センター
4月22日(土)【競技実施日】	8時00分～招集時間	仮大会本部テント

インフォメーション・センターは、競技場正面玄関前に設置する。開門時刻、閉門時刻については【申し合わせ事項3】を参照。

5. 各種書類について

大会期間中の各種書類の配付及び提出の窓口については、次のとおりとする。

書 類 名	配付場所	提出先・依頼先
欠 場 届	テクニカルインフォメーションセンター (以下、TIC)	TIC
重 複 出 場 届		
記 録 証 明 書	インフォメーション・センター	インフォメーション・センター
第4位から第8位までの賞状	インフォメーション・センター	
使用シューズ申告書(プロトタイプ)	TIC	TIC

※TICは招集所に設置する。

※使用シューズ申告書(プロトタイプ)は、原則として指定された選手が大会前に提出するが、大会期間中に事前申告から変更があった場合等には、TICに提出するものとする。

6. 招集について

(1) 招集所は、マラソングート付近（ホームストレート側 100m スタート地点付近）に設置する。

なお、棒高跳の招集は競技実施場所（バックストレート側ピット）、ハンマー投の招集は東海大学湘南校舎陸上競技場で行う。

(2) 種目別、組別の招集時刻は、プログラムの競技日程に記載のとおりとする。

(3) 招集の方法は、次のとおりとする。

① 招集所は、各種目各組の招集時刻 10 分前から開ける。

トラック競技者は、招集時刻までに競技者係から当該種目に出場する競技者本人が点呼を受け、腰ナンバー標識を受け取り、以下のチェックを終えること。

- ・アスリートビブスを付けたユニフォームのチェック
- ・持ち込み衣類、所有物の商標のチェック

その後、競技役員の指示に従い、スタート地点へ移動する。

② フィールド競技者は、招集時刻までに競技者係から当該種目に出場する競技者本人が点呼を受け、以下のチェックを終えること。

- ・アスリートビブスを付けたユニフォームのチェック
- ・持ち込み衣類、所有物の商標のチェック

その後、競技役員の指示に従い、競技実施場所へ移動する。

③ 競技規則 TR6.3.2 に記載の機器及び通信機能を有する機器を招集所からミックスゾーンまでの競技場内に持ち込むことはできない。違反した場合は助力を受けたものとして警告・失格の対象となる。

④ 同時進行種目への出場競技者は、あらかじめ「重複出場届」に必要事項を記入し、TIC（競技者係）に提出する。「重複出場届」は、TICにおいて配付する。

⑤ 招集時刻に遅れた競技者は、その種目を欠場したものとみなす。

⑥ 欠場者の人数により、レーンを変更し競技を実施することがある。

7. 欠場について

やむを得ず本競技会への出場を辞退する場合は、次の要領で「欠場届」を提出する。

欠場は番組編成に影響することがあるため、わかり次第すぐに提出すること。

(1) 4月19日(水)までは、本連合 HP (<http://www.iuau.jp/>) に掲載してある「欠場届」に必要事項を記入し、FAX (03-5304-5569) で提出する。

(2) 4月20日(木)は、競技場エントランス前に用意してある「欠場届」に必要事項を記入し、その場で提出する。やむを得ず、競技場で提出できない場合は、FAX (03-5304-5569) で提出する。

(3) 4月21日(金)以降は、TICに用意してある「欠場届」に必要事項を記入し、TIC（競技者係）に提出する。やむを得ず、TIC（競技者係）に提出できない場合は、FAX (03-5304-5569) で提出する。

8. アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、参加受付の際に1名につき2枚配付する。
- (2) アスリートビブスは、そのままの大きさと胸と背に確実につける。ただし、跳躍種目に出場する競技者は、胸または背だけでもよい。
- (3)トラック競技に出場する競技者には、腰ナンバー標識（2枚）を招集時に配付する。なお、5000m・10000m及び10000mWではトランスポンダ一付きの腰ナンバー標識を使用するので左腰につけること。
- (4) 5000m・10000m及び10000mWのトランスポンダ一付きの腰ナンバー標識は、レース終了後に回収する。
- (5) アスリートビブスの布地及び数字の色は次のとおりとする。
 - ① 男子 『黄色地×黒数字』
 - ② 女子 『ピンク地×黒数字』
 - ③ 5000m・10000m及び10000mW 『オレンジ地×黒数字』
 - * 5000m・10000m・10000mWで使用する特別アスリートビブスは、招集開始1時間前からTICにて配付する。その際、受付時に配付したアスリートビブスも持参すること。招集は特別アスリートビブスをつけた状態で行う。
 - ④ 十種競技及び七種競技 『オレンジ地×黒数字』
 - * 十種競技・七種競技では最終種目のみ特別アスリートビブスを配布するので、混成競技者係より受け取る。
 - ⑤ ハンマー投 『白地×黒数字』
 - * 胸と背中の中の両方につけること。
 - * ハンマー投に使用する特別アスリートビブスは、競技実施日(22日(土))に東海大学湘南校舎陸上競技場にて配付する。招集は特別アスリートビブスをつけた状態で行う。

9. 用具について

- (1) 棒高跳用のポールは、各自が持参したものを使用する。
- (2) その他の競技に使用する用具は競技場備え付けのものを使用する。ただし、投てき競技で、個人所有の投てき物の使用を希望する場合には(3)に従い検査を受け使用許可を受けることで使用を認める。
- (3) 個人所有の投てき物（一人2個まで）を使用する場合、競技開始時刻の2時間前から1時間前までに検査を受ける。検査を経て合格した投てき物に、主催者の用意するシールを貼るので、競技終了まではがしてはならない。この場合、個人所有の投てき物については一時的に競技場備品としての扱いとなるので、他の競技者との共用になる。検査場所及び返却場所については次のとおりとする。

用具	検査場所及び返却場所
砲丸、円盤及びやり	レモンガスタジアム平塚 用器具庫
ハンマー	東海大学湘南校舎陸上競技場 用器具庫

- (4) 個人所有の用具の破損に関して、主催者側は一切の責任を負わない。
- (5) フィールド競技で使用するすべり止め（炭マグ）は、各競技者が個人で準備する。

10. 競技について

- (1) トラック競技について
 - ① トラック競技における招集完了後の練習は、すべて競技役員の指示に従う。
 - ② 参加人数により、ラウンドを減らす場合がある。
 - ③ 100m、200m、100mHはB決勝を行う。
 - ④ 100m、200m、100mH及び110mHは、気象状況によりバックストレートで実施する。
 - ⑤ 短距離種目では、衝突事故を防止するため、フィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーンを走る。
 - ⑥ 5000m・10000m及び10000mWは、気象状況により給水を行う。給水はすべて紙コップで行う。尚、スポンジは設置しない。
 - ⑦ 10000mWにおいては、競歩審判員主任による単独失格権限ルール（TR54.4.1）を適用する。

(2) フィールド競技について

- ① フィールド競技における招集完了後の競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
- ② 棒高跳の競技場所での練習は、ゴム製バーを用いて行う。走高跳の競技場所での練習は、通常のバーを用いて行う。
- ③ 走高跳及び棒高跳のバーの上げ方は原則として次のとおりとする。

種目・種別		練習	1	2	3	4	5	以降
走高跳	男子	2m00 2m10	2m05	2m10	2m13	2m16	2m19	+ 3 cm
	女子	1m60 1m70	1m65	1m70	1m75	1m78	1m81	
棒高跳	男子	4m70 5m00 5m20	4m80	5m00	5m10	5m20	5m30	+ 5 cm
	女子	3m40 3m70	3m40	3m50	3m60	3m70	3m80	

- ④ 三段跳の踏切板の位置は、男子13m、女子は11mとする。
- ⑤ 投てき競技の競技場内での練習は、1回につき60秒以内とする。
- ⑥ 投てき競技の計測は、光波距離測定装置を使用する。ただし、砲丸投の計測は鋼鉄製の巻尺を使用する。
- ⑦ ハンマー投は、東海大学湘南校舎陸上競技場で行う。

(3) 混成競技について

- ① 招集は、各日最初の種目に限り招集所にて行う。それ以後の招集は行わないので、混成競技者は次の種目から混成競技者控室にて待機し、競技役員の指示に従う。
- ② 混成競技における招集時刻後の競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
- ③ 混成競技控室として競技場内諸室を使用するので、諸室図を参照すること。**当該種目の競技者及び競技役員以外の混成競技控室への立ち入りは一切禁止とする。**
- ④ 走高跳及び棒高跳のバーの上げ方は原則として次のとおりとする。

種目・種別		練習	1	2	3	4	5	6	以降
十種競技	走高跳	1m60 1m75	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m83	+ 3 cm
	棒高跳	3m40 3m80	3m40	3m60	3m80	4m00	4m10	4m20	+ 10 cm
七種競技	走高跳	1m45 1m55	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	1m66	+ 3 cm

(4) 競技結果と番組編成について

- ① 各種目の結果の正式発表は大型スクリーンにて行う。
- ② タイムにより次のラウンドに進む競技者の決定について、同記録の競技者がいる場合は、写真判定員主任が0.001秒単位の時間を判定して決定する。それでも決まらない場合は、当該の競技者または代理人による抽選とする。
- ③ 競技結果等は記録処理終了後、随時、日本学生陸上競技連合HPにて発表する。競技結果及び準決勝以降の番組編成リスト等は各自で確認すること。

(5) その他

競技規則を厳格適用し、CR18.5及びTR7.2の適用により警告を2回受けた競技者は失格となり除外処分対象となるので、この競技会における以後のすべての種目に出場できなくなる。

11. 抗議と上訴について

競技結果の正式発表時間は大型スクリーンに発表された時間を基準とする。競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議は、競技結果が大型スクリーンに発表されてから、競技規則に定められた時間内に、その競技者または代理人がTICに申し出る。その後、担当総務員を通して審判長に対して口頭で抗議を行う。さらに、この裁定に不服の場合は預託金(1万円)を添え、競技規則に定められた時間内に、その競技者または代理人が担当総務員を通してジュリーに文書で申し出る。

なお、抗議については、TR8.4.1〔国際〕及びTR8.5〔国際〕を適用し、競技エリアで競技者本人から当該審判長が抗議を受け付け、裁定する場合がある。不正スタート及びフィールド競技の判定に対して競技者自身が異議のある場合には、直ちに当該審判長に申し出ることができる。

12. ドーピング・コントロール・テストの実施について

- (1) ドーピング・コントロール・テストは、日本アンチ・ドーピング機構及び日本陸上競技連盟の規則に従い実施する。ドーピング・コントロール・テストを指示された競技者は、競技役員の指示に従ってテストを受ける。その際、顔写真付きの本人確認書類が必要となるので、顔写真のついた学生証、運転免許証、写真が鮮明なパスポートコピー等を携帯すること。
- (2) 禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ(<http://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>)、日本アンチ・ドーピング機構ホームページ(<http://www.playtruejapan.org/>)及び日本学生陸上競技連合HP(<https://www.iuau.jp/>)内の「知っておきたいアンチ・ドーピングの知識2023年版」を確認すること。

13. 表彰について

- (1) 10000mと混成競技に関しては個人選手権種目ではなくFISUワールドユニバーシティゲームズ(成都)代表選手選考種目となるため、表彰を実施しない。
- (2) B決勝は表彰の対象としない。
- (3) 個人選手権の各種目の第1位から第3位までに入賞した競技者には、メダルと賞状を表彰式にて授与する。競技終了後、速やかにエントランスホール内の表彰対象者待機場所まで集合すること。
- (4) 表彰式の際の服装は、待機場所で配付するプレゼンテーションビブスをつけた公式Tシャツあるいはジャージを着用し、下は公式ジャージを着用すること。
- (5) 第4位から第8位までに入賞した競技者には賞状を授与するので、インフォメーション・センターにて受け取ること。
- (7) ハンマー投の表彰は、競技終了後現地でメダルセレモニーのみ実施する。現地の表彰担当者に従うこと。賞状はインフォメーション・センターにて配付する。

14. その他

- (1) スタートとフィニッシュの場所が異なるトラック競技では、招集所で配付された袋に入れられた衣類等をフィニッシュ地点付近まで運搬する。
- (2) 競技終了後、各種目のすべての選手及び主催者が許可した報道関係者から取材の希望があった選手は、必ずミックスゾーンを通過し、主催者が許可した報道関係者の取材を受けること。また、表彰式終了後もインタビューを受けることがあるので協力すること。
- (3) 大会期間中の貴重品の管理は各自で行うこと。盗難及び紛失に関しては、一切の責任を負わない。なお、大会期間中に主催者に届けられた物品等については、一時的にインフォメーション・センターにて保管する。大会終了後は主催者で一時的に保管し、その後処分する。
- (4) 競技中に発生した傷害及び疾病等についての応急処置は主催者において行うが、それ以後の責任は一切負わない。ただし、2023年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているため、この保険が適用される場合がある。必要な競技者はインフォメーション・センターにおいて、スポーツ安全保険の事故報告書を受け取ること。

- (5) 救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部および競技場側の許可なく手配しない。手配する場合は大会本部より車両の手配を行うので、その際は、詳細を含めインフォメーション・センターに連絡すること。
- (7) 主催者が許可した場合を除き芝生への立ち入りは一切禁止する。
- (8) FISU ワールドユニバーシティゲームズ（成都）の代表選手選考に関しては、別紙選考要項を参照のこと。
- (9) その他、不明な点は、下記のように問い合わせること。
- ・競技に関する質問や抗議 TIC（招集所）
 - ・大会に関する質問 インフォメーション・センター（正面玄関横）